

## 富士ゼロックス社とフォントライセンス契約を締結 ～複合機の操作パネルにヒラギノフォントを搭載～

大日本スクリーン製造株式会社はこのほど、富士ゼロックス株式会社（以下、富士ゼロックス社）との間で、日本語フォント「ヒラギノ丸ゴシック体」および中国語フォント「ヒラギノ角ゴシック体」について、同社製複合機での表示利用に関するライセンス契約を締結しました。



富士ゼロックス社「DocuCentre-V C7775」 「かんたんUIパッケージ2」操作パネル

☆これらの画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。  
([www.screen.co.jp/press/nr-photo\\_2014-2015.html](http://www.screen.co.jp/press/nr-photo_2014-2015.html))

近年のOA機器業界では、スキャナーやコピー、プリンターなど、充実した機能を持つ複合機が普及し、オフィスなどで一般的に利用されるようになりました。ほとんどの製品は、液晶タッチパネルとボタンとの組み合わせによって細やかな設定が行えるため、メーカー各社は、多機能化に伴って複雑になったユーザーインターフェースの操作性の向上に注力しています。そのため操作パネルの表示においても、より見やすく、識別しやすいフォントの搭載が検討され始めています。

こうした現状を踏まえて当社は、他社との差別化を図るため複合機の操作性向上を推進している富士ゼロックス社に対して、多くの複合機に採用されているビットマップフォントよりも滑らかな輪郭を持ち、視認性の高いスケラブルフォントの組み込みを提案。このたび、ディスプレイ上でくっきり美しく見えるという特長が評価され、当社の日本語フォント「ヒラギノ丸ゴシック体」と中国語フォント「ヒラギノ角ゴシック体」の採用が決定し、使用許諾契約の締結に至りました。同社から発売される複合機の操作パネル向けアプリケーション「かんたんUIパッケージ2」に採用され、以後、順次搭載される予定です。

当社はヒラギノフォントにおいて、従来の印刷物への使用や画面に映すとといった「見る文字」から、今回の富士ゼロックス社への取り組みなどユーザーインターフェースを用途とした「使う文字」へと、販路を拡大していきます。そして、今後も時代の変化や多様化するニーズにいち早く応え、質の高いフォントの提供を通じて、快適な社会づくりに貢献していきます。

## ■ 富士ゼロックス株式会社 商品開発本部 ヒューマンインターフェイスデザイン開発部 部長 木暮 毅夫氏のコメント

急速に普及したスマートフォンやタブレットによって、高品質なグラフィカルインターフェースを身近に使用する機会が増えました。複合機においても、新しい機能や価値を表現するために操作画面の品質向上が必要であり、フォントはそれを構成する重要な要素の一つです。私たちは、読みやすく美しいフォントを採用するために、複合機を使用する20～60歳代の各年代層の方（ユーザー）にモニターとしてご協力いただき、感性評価を行いました。複数のフォント候補を実際の画面に表示させ、モニターの方々に操作していただいた結果、「ヒラギノ丸ゴシック」は大変読みやすいと各年代層で幅広く支持され、高い評価を得ました。複合機の「かんたんUIパッケージ2」から採用を始め、今後の新商品への搭載を検討しています。

## ■ 富士ゼロックス株式会社

富士ゼロックス社は、デジタル複合機をはじめとしたオフィス機器、パブリッシング・システム、ドキュメント・マネジメント・ソフトウェアや関連ソリューション／サービスを、日本および中国を含めたアジア・パシフィック地域で生産・販売している。また、同社が生産したデジタル複合機は米国ゼロックス社を通じて、プリンターはOEM先を通じて、全世界に提供されている。1962年に設立され、社員数は連結で約4万5,000人。約80社の国内外関連会社／販売会社を有する。

## ■ オフィス向けフルカラーデジタル複合機「ApeosPort-V C」および「DocuCentre-V C」シリーズ

富士ゼロックス社の主力ラインアップとして、多くの企業に採用されている。最新のコントローラーソフトウェアを搭載し、シリーズで共通の優れた操作性とソフトウェア機能を提供。ユーザーのさらなる業務の効率化・課題解決に貢献している。

## ■ ヒラギノフォント

大日本スクリーンが提供するオリジナルフォントシリーズ。米国・アップル社の「Mac OS X」や「iOS」に標準搭載されている他、ビジュアルを重視した印刷や商品デザイン、高い視認性が求められるテレビ番組のテロップや高速道路の標識など、幅広い分野で採用されている。